

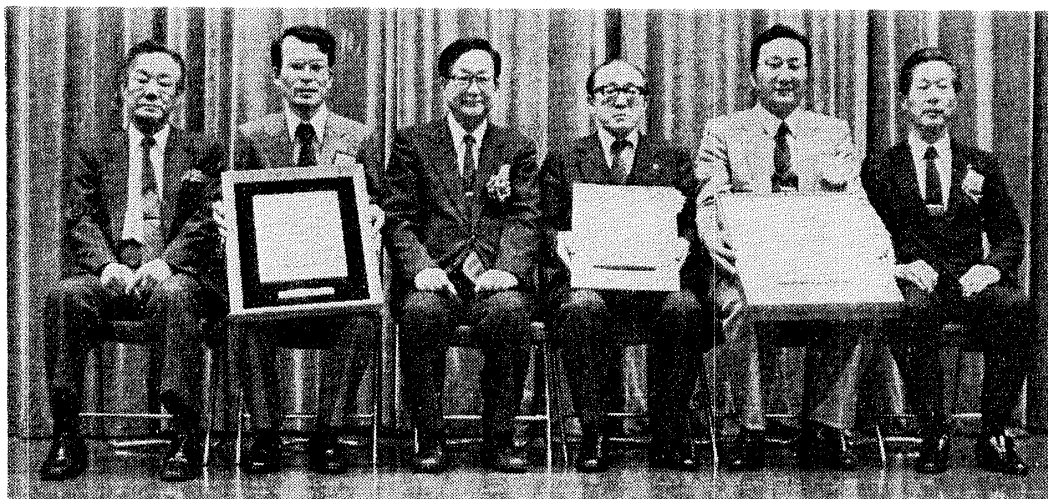
会 報

昭和57年度 日本醸酵工学会大会

昭和57年度大会は、去る11月10日から12日までの3日間、日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）において開催された。会場は第1会場（講堂）、第2会場（特別教室）、第3会場（第2教室）、および第4会場（C教室）にわかれて221題の研究発表が行われた。すなわち酵素および酵素工学、微生物、微生物代謝・生理、生物化学工学、醸酵生産、醸造および廃液処理の一般講演と酵素工学、醸造物の熟成、微生物の遺伝、培養プロセス工学およびバイオマスの有効利用の各シンポジウムならびに発酵工業協会石油醸酵研究会と石油醸酵講演会、文部省環境浄化技術研究班と環境浄化技術および日本菌種保存連盟と最近の菌類分類の動向の各シンポジウムを共催で行ない熱心な

討論が行なわれた。

大会第2日目は、授賞式および受賞講演が行なわれた。まず福井会長のあいさつの後、相田授賞選考委員から斉藤賞受賞者の高橋里美氏について、永井授賞選考委員から照井賞受賞者の松村正利氏について、福井授賞選考委員から醸酵工学賞受賞者の照井堯造氏についてそれぞれ選考経過および業績について報告があり、受賞者にそれぞれ賞牌、副賞（金一封）が贈呈された。なお同日5時からミキサー（会員懇談会）が行なわれた。テーブルには賛助会員の寄贈による清酒、ビール、ワイン、ウイスキー、ジュース、コーラ等の飲物やお菓子、オードブル、チーズ等のおつまみが盛沢山に並べられ午後7時までなごやかに懇談された。



左より 田口副会長、高橋里見氏、福井会長、照井堯造氏、松村正利氏、妹尾副会長

昭和57年度 第2回理事会議事録

日 時 昭和57年11月10日（水）17時30～19時

場 所 関電会館（大阪市北区中之島3-3-22）

出席者 相田 浩氏 他 17名

陪席者 栗山一秀、芝崎 勲（監事）

議 事

〔報告事項〕

庶務関係：田口庶務担当理事は資料にもとづいて事業、会議開催状況および会員異動状況について報告した。

編集関係：山田編集担当理事は資料にもとづいて原稿受付状況、月別受付原稿数と掲載状況および投稿数と掲載数について報告した。

会計関係：岡田会計担当理事は資料にもとづいて上半期の収支決算を報告した。

創立60周年記念事業報告：妹尾副会長は資料にも

とづいて、記念事業の経過ならびに募金の状況について報告した。

〔協議事項〕

1. 学会賞（仮称）を新設する件について協議した結果、資金不足ならびに江田賞との関連性もあり当面見合わせる事になった。
2. 次期評議員候補者推薦委員の選出について協議した結果、人選については会長および副会長に一任した。
3. 関東支部創立20周年記念に関して、昭和60年度の年次大会を関東で開催することにした。
4. 新入会員（正会員61名、学生会員38名、団体会員3社および賛助会員2社の入会申請を承認した。

編集委員会議事録

日 時 昭和57年11月10日（水）12時～13時
場 所 日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）
出席者 合葉修一氏 他 17名
陪席者 原島 俊氏 他 4名（幹事）

議 事

〔報告事項〕

山田編集理事は、資料にもとづいて上半期の編集状況（原稿受付状況、月別受付原稿数と掲載状

況および投稿数と掲載数）について報告した。

〔協議事項〕

- イ. 投稿規定に、国際単位系 (SI) 使用の項目を追加することを決めた。
- ロ. 和文論文の Abstract を英文誌に掲載することを決めた。
- ハ. 昭和58年度のトピックス委員を任命することを決めた。

昭和57年度 第2回評議員会議事録

日 時 昭和57年11月11日（木）12時～13時
場 所 日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）
出席者 赤木盛郎氏 他 25名
委任状による者 23名
陪席者 福井会長 他 5名
定款にもとづき、山本武彦氏を議長に選出し、定足数を確認の上議事に入る。

議 事

〔報告事項〕

庶務関係：田口理事は資料にもとづいて事業、会議開催状況および会員異動状況について報告した。

編集関係：山田編集担当理事は資料にもとづいて原稿受付状況、月別受付原稿数と掲載状況および投稿数と掲載数について報告した。

会計関係：岡田会計担当理事は資料にもとづいて上半期の収支決算を報告した。

創立60周年記念事業：妹尾副会長は資料にもとづいて記念事業の経過ならびに募金の状況について報告した。

〔協議事項〕

次期理事、監事候補者推薦委員の選出について協議した結果、人選について山本武彦、川野義男、枅倉辰六郎、米田雅彦、遠藤滋俊の5氏に一任することにした。